



森貞 真太郎 准教授が佐賀県内小学校 5 校で科学教室を実施

【概要】

理工学部化学部門 森貞 真太郎 准教授が、佐賀県教育庁学校教育課が実施する「外部人材を活用した科学教室」の講師として、2020 年 10 月から 11 月にかけて県内の 5 校の小学校で 5 年生を対象に理科の授業を行いました。

【本文】

子どもたちの自然に対する興味や関心を高め、科学的な見方や考え方を養うために佐賀県教育庁学校教育課が実施する「外部人材を活用した科学教室」の講師として、理工学部化学部門の森貞 真太郎 准教授が佐賀県内の 5 校の小学校で小学 5 年生を対象に「ものが水にとけるしくみ」と題した理科の授業を行いました。

授業では、まず、児童たちが塩と小麦粉を水に溶かす実験を行い、その溶け方の違いを観察しました。その後、それらが水に溶ける様子を顕微鏡で観察したビデオを視聴し、どうしてもものが水に溶けるのか、また、溶けるものと溶けないものの違いについて説明しました。

延べ 10 学級 364 名の児童に対して授業を行いました。いずれの学級でも児童たちは活発に発言し、ものが水に溶ける仕組みについて大いに興味を持ってもらえた様子でした。

実施校（実施日）

唐津市立長松小学校	(2020 年 10 月 20 日)
有田町立大山小学校	(2020 年 11 月 11 日)
伊万里市立松浦小学校	(2020 年 11 月 17 日)
大町町立大町ひじり学園	(2020 年 11 月 24 日)
鹿島市立七浦小学校	(2020 年 11 月 26 日)



科学教室の様子（鹿島市立七浦小学校）